

令和2年5月21日公開

～Art for you～ 川崎市民のみなさまへ  
ピアニスト 小原孝さん（川崎市市民文化大使）

川崎市の皆さん、こんにちは。市民文化大使の小原孝です。  
新型コロナウイルスの影響で、本当に皆さん大変辛い思いをされていると思いますが、でもその効果は着実に現れて、どうやら日本ではパンデミックは免れそうな気配です。

でも、油断は禁物、さらに気を引き締めて頑張りましょう。  
僕はピアニストをしています。音楽の世界もとても大変なことになっていて、2月下旬から演奏会のキャンセルが始まり、今の時点で7月の下旬まですべての演奏会がなくなり、失業してしまいました。

そして21年間続けている、NHK-FMの「弾き語りフォーユー」という番組も、緊急事態宣言が出てから、収録ができなくなってしまいました。  
5月からは、初めての試みですが、自宅で収録するという、それだけ緊急事態なんだと、感じています。

今年2020年は、僕にとって特別な年でCDデビュー30周年、それに向けてたくさん計画をしてきましたが、そのほとんどが中止になりました。  
全国ツアーはもちろん、ニューヨーク公演もダメになりましたし、一番楽しみにしていたのは、ミューザ川崎シンフォニーホールでの記念リサイタル。これは坂戸小学校の皆さんとか、市民の合唱団の皆さんと共演する、それをとても楽しみにしていましたが、残念ながらなくなってしまいました。唯一30周年記念のCDだけは販売されるという、それだけは救いです。

その代わりオンラインの仕事、例えばオンラインのレッスンであるとか、セミナーであるとか。それからYouTubeチャンネル開設を開設しました。さらに若いYouTuberの皆さんと一緒にYouTubeライブにも挑戦しました。ピンチがチャンスにつながるように、今頑張っています。音楽の世界も、新しい活動の仕方が求められている、そんな気がしています。

もちろん、本当に演奏できる、演奏会が楽しめる時期を心待ちにしていますし、ミューザ川崎でのリサイタルもリベンジしたいと思っています。

それができた時は、ぜひ皆さん聴きにいらして下さい。

それでは、一曲プレゼントいたします。30周年記念のCDに収録し、ミューザ川崎でも演奏する予定だった「いのちの歌」。こちらを演奏いたします。

この曲は、あと何年かして、未来のこどもたちに「2020年はコロナで本当に大変だったんだよ、でもみんな頑張ったんだよ」と笑って伝えられるように、そんな思いで演奏します。聴いてください。